

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年01月09日

計画の名称	湯梨浜町における安全で安心な住環境の整備（地域住宅計画）											
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）											重点配分対象の該当
交付対象	湯梨浜町											
計画の目標	『町内に存する危険物等の倒壊による近隣及び道路への危険防止のために、危険建物の除却を推進し、安全で安心できる住みやすいまちを確保する。』 『老朽化の進んだ公的賃貸住宅の建替え等を行うことで安全に安心して暮らせる豊かな住環境の実現を目指す。』											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	56	A	56	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
					H28当初	H31末	
1	除却を推進すべき区域内の不良住宅の除却戸数 除却を推進すべき区域内の不良住宅の戸数を除却状況に基づき算出 区域内の不良住宅の戸数（戸） = 町が把握している不良住宅の戸数（戸） - 除却した不良住宅の戸数（戸）		138戸	戸		113戸	
2	公的賃貸住宅の建替え割合 目標年度の全公的賃貸住宅に対する耐用年数の1/2以上を経過した公的賃貸住宅の割合 (耐用年数1/2以上経過した住宅戸数) / (全住宅戸数) (%)		94%	%		92%	

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											H28	H29	H30	H31	R02		
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	湯梨浜町	間接	個人	-	-	地域住宅計画に基づく事業（住宅地区改良事業）	空き家再生等推進事業【除却】	湯梨浜町						50		-
	A15-002	住宅	一般	湯梨浜町	直接	湯梨浜町	-	-	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等ストック総合改善事業）	長寿命化計画策定業務	湯梨浜町						6		-
																		56	
																		56	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 事業担当課で実施	事後評価の実施時期 令和7年12月
公表の方法 ホームページ	
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	1.湯梨浜町空き家対策支援事業の実施により、区域内の不良住宅の個数が減少した。 2.長寿命化計画の策定により、今後計画実施に伴い耐用年数の1/2以上経過している公営住宅の戸数割合が減少が見込まれる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	1.湯梨浜町空き家対策支援事業の実施により、所有者の費用負担を軽減した。 2.長寿命化計画の策定により建替・新築事業の計画を立案できた。
特記事項（今後の方針等）	
1.引き続き湯梨浜町空き家対策支援事業の実施により、区域内の不良住宅の個数の減少を図る。 2.今後、長寿命化計画を実施し、耐用年数の1/2以上経過している公営住宅の戸数割合の減少をすすめる。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	当初現況値138戸を最終目標値113戸にする		
	最終目標値 113戸	不良住宅の所有者等へ除却の勧奨を行ったが、所有者からの理解がなかなか得られなかった。	
2	当初現況値94%を最終目標値92%にする		
	最終目標値 92%	長寿命化計画を策定したが、計画実施がないため、目標には達しなかったが、今後計画を実施し目標を達成する。	